

第2次斜里町商工業振興計画（案）に関する意見応募の結果について

1 意見公募手続（パブリックコメント）の実施状況

(1) 募集期間 令和7年1月17日（金）から令和7年2月5日（水）

(2) 意見公募の結果

意見の応募者数 1件

うち有効者数 1件

(3) 提出方法の内訳

	持参	郵送	FAX	電子メール
件数			1	

(4) 意見提出者の区分

区分	件数
町内に住んでいる人	1
町内の学校で学んでいる人	
町内の会社等で働いている人	
町内に事務所又は事業所を有する法人及びその他の団体	

(5) 意見の内容

項目	件数
町のイメージアップに関して	1
商工業を取り巻く課題に関して	1
「道の駅」を中心とする活性化に関して	1
移住・定住希望者に関して	1

(6) 意見の概要と町の考え方

ご意見と当町の考え方については、別紙のとおりとなります。

(問い合わせ先)

〒099-4192 斜里町本町12番地

斜里町役場商工観光課商工労政係

☎ 0152-26-8375 Fax 0152-23-4190

電子メール sh.rousei@town.shari.hokkaido.jp

(別紙) 第2次斜里町商工業振興計画(案)に提出された意見

NO	寄せられた意見	当町の考え方
1	<p>昨年斜里町に引っ越してきました。</p> <p>北海道でも観光地として有名な知床があり観光客でにぎわっていると思っていましたが、町の印象が暗く当初はおどろきました。遊覧船事故や国保病院の過誤請求など悪い印象をうける事件が続いているので、今後のイメージアップに期待します。</p>	<p>知床遊覧船の事故等により観光関連事業者を始めとして厳しい状況が続いております。そのような中、斜里町は、基幹産業として農林漁業や商工観光業といった産業があり、世界に誇れる豊かな自然と共生した町づくりを進めており、他地域に比べても恵まれた自然資源を有し、魅力的な地域であります。</p> <p>私たちを取り巻く環境は厳しさを増していますが、第7次斜里町総合計画の基本テーマのとおり「みんなで一緒にとりくむ、持続可能なまちづくり」を念頭に置き、商工業をはじめ町民の皆さんと共に取り組んでいく考えです。</p>
2	<p>飲食店はそれなりにあるのですがいつ営業しているのかが分かりづらい店もあり、使いづらさを感じています。正確な営業時間を知るために店の個人サイトを調べなくてはいけないので面倒くささを感じる場面が何度もありました。飲食店の利用促進のために一括でチェックできるサイトもしくはアプリなどがあると観光客も使い安いのではないのでしょうか。オンライン予約できるとなお良いと思います。</p>	<p>飲食店を含めて商工業の情報発信に関しては、各事業者での対応や商工会等でも加盟店の情報冊子、チラシの作成など実施しております。</p> <p>第2次商工業振興計画の中においても、飲食店を含めた商工事業者への支援として、IT関係導入や発信力向上など、商工会等への経営相談により課題解決をするための支援も実施していくこととしています。また、このような支援事業の活用を進める他、商工会とも情報共有、連携を図り、町内での購買が進む方策を検討していきます。</p>

3	<p>道の駅しゃりをリニューアルするなら移転も検討した方が良いと思います。今の場所だと旅行の道すがら寄ることはあまりないと町外からきて感じました。</p>	<p>道の駅しゃりの「への字」道路沿線は、斜里の商業の歴史を形作ってきた中心地であり、宿泊施設も集中しており、引き続き中心市街地として活性化をめざすことが、地域色を維持し、郷土愛を醸成する上でも重要であると考えています。また、令和6年(2024年)7月30日には道の駅しゃりに新たなテナントとしてCOBAKO Shariがオープンし、地域の皆さま、旅行者など、人びとが触れ合い、新たな賑わいも生まれてきておりますので、より多くのお客様にご利用いただこうよう取り組みを進め、中心市街地の活性化に繋げていきたいと考えています。</p>
4	<p>移住者、定住者を増やすためにも住みよい町づくりが必要だと強く感じています。特に現在の斜里町の医療体制はかなり貧弱と感じており、とてもではないですが定住しようという気持ちにはなりません。すばらしい観光資源のある町なので住みやすくなるようその面も改善できるように産業部の方からも働きかけてほしいと切に願います。</p>	<p>移住定住を促進していくためにも住みよい町づくりを進めていくことは斜里町としても重要な課題として考えています。</p> <p>全町的に担い手不足が深刻化している状況があり、地域が自立していくためには、関係人口の創出や移住定住促進に向けた対策が重要な役割を果たしていきます。そのような人材を受け入れていくためには、仕事情報や住宅確保など情報発信に努め、相談窓口の設置を行い受け入れ体制整備を進めていく必要があります。また、当町の課題としては医療、福祉体制の整備の他、子育て、教育環境の充実にも力を入れていかなければならないと考えていますので、商工業を始め町内の経済界、町民の皆さま、そして行政が一丸となってまちづくりを進めていく考えです。</p>